

埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 報

第 739 号

令和 7 年 5 月 20 日 編集

発 行 所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電 話 048(645) 1 9 0 6
F A X 048(648) 1 8 6 5
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <https://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110 - 9 - 195954番

発行責任者 中 村 滋

編集責任者 高 橋 一 成

印 刷 所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

学術

令和 7 年度関東・東京合同地区獣医師大会(山梨)、獣医学術関東・東京合同地区学会開催案内、発表演題の募集(再掲載) …… 1

会務報告

監査会 …… 3
第 1 回獣医事調査委員会 …… 3

新入会員報告

新入会員紹介 …… 4

予告

埼玉県獣医師会学術講習会(西支部担当)のお知らせ …… 5

ひろば

中村会長が県庁新任幹部職員を表敬訪問 …… 6

お知らせ

埼玉県からのお知らせ …… 7
日本獣医師会からのお知らせ …… 7

埼玉県獣医師会学術広報版 …… 11

事務局より

事務局メモ …… 12

編集後記 …… 14

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう

1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう

1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう

1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう

1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

学 術

令和7年度 関東・東京合同地区獣医師大会・三学会開催案内

担当 (公社) 山梨県獣医師会

区 分	関 東 ・ 東 京 合 同 地 区 獣 医 師 大 会	産 業 動 物 獣 医 学 会	小 動 物 獣 医 学 会	獣 医 公 衆 衛 生 学 会
日 時	令和7年9月7日(日) 13:00～14:00	令和7年9月7日(日) 午前の部 10:00～12:00 午後の部 14:15～16:30		
大会会長 分野別地区 学会会長	関東地区獣医師会連合会 会長 笠松 豊乗	日本大学 堀北 哲也	日本獣医生命科学大学 原 康	日本大学 壁谷 英則
会 場	アピオタワー館 (山梨県中巨摩郡昭和町西条3600 TEL:055-220-6111)			
	10階 慶翔の間	6階 サボイ	4階吉光の間・祥華の間	6階 キャッスル
次 第	[大 会] 1 開会の辞 2 黙祷 3 大会会長挨拶 4 獣医事功績者表彰 5 受賞者代表謝辞 6 来賓祝辞 7 議長選出 8 議 事 (1)令和6年度経過報告 (2)議 案 9 大会宣言 10 次期開催担当会長挨拶 11 閉会の辞 [三学会] 1. 開会の辞 2. 分野別地区学会長挨拶 3. 学会・発表 4. 審査委員会 5. 閉会の辞 6. 優秀演題発表者表彰 [演題申込み要領] 1. 提出先: 公益社団法人山梨県獣医師会 2. 演題申込・発表要旨提出期限 令和7年6月13日(金) 3. 提出方法: 所属地方獣医師会を経由 4. 演題: 口演8分/討論2分 5. 原稿執筆要領: 別紙 6. 審査員: 幹事・学識経験者の中から地区学会長に選任された者 7. 参加費: 6,000円(昼食・抄録代) 交流会: 8,000円			
	※埼玉県獣医師会会員の参加費については本会にて負担します。 ※学会発表順序、演題は演者の都合により変わることがあります。 ※三学会は学術講演とともに、獣医師生涯研修事業のポイント取得対象プログラムとして、参加者にポイントが付与されます。			
	【ランチョンセミナー】 検討中			
	【市民公開講座】 「SFTSを中心としたダニ媒介の人獣共通感染症」(予定) 10階 慶翔の間 【災害動物支援セッション】(予定) 10階 慶翔の間 [表彰式・交流会] 17:15～19:15 10階 慶翔の間			

【タイムスケジュール】

9:00～	10:30～12:00	10:00～12:00	12:00～13:00	13:00～14:00	14:15～16:30	17:15～19:15
受 付	市民公開講座	三学会	昼 食	大 会	三学会 災害動物支援セッション	表彰式・交流会
	動物用医薬品・機器等展示 8階 オーバーチュア 10:00～16:00					

《参加申込の方法》

本大会・学会への参加は、事前登録することとなっております。参加を希望される方は、7月16日(水)までに、下記事項（お知らせいただく内容）を埼玉県獣医師会事務局までお知らせください。当日登録も可能ですが、極力、事前登録をお願いします。

なお、「参加費（6,000円）」は本会が負担します。

《お知らせいただく内容》

- ・氏名
- ・所属支部
- ・参加する学会(産業動物・小動物・公衆衛生のうち主なもの一つ)

※：申し込み後、ご都合が悪くなった場合は早めにご連絡をお願いします。

《連絡先》

埼玉県獣医師会 事務局

住所：〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町
1-340(埼玉県農業共済会館内)

TEL：048-645-1906

FAX：048-645-1865

Eメール：s-vma@vesta.ocn.ne.jp

令和7年度獣医学術関東・東京合同地区学会の発表演題の募集

発表演題の募集については会報4月号（第738号）をご覧ください。

会務報告

監 査 会

令和7年5月13日(火)午後1時30分から午後5時まで、さいたま市「埼玉県農業共済会館」会議室において、監査会を開催し、中村滋会長、大橋邦啓副会長、宗像俊太郎副会長、高橋一成総務委員長の立会いのもと、令和6年度の会計、財産及び会務の執行状況に関する監査が、八木賢裕監事、長澤泰保監事、三森信行監事、田中裕監事により実施された。

第1回 獣医事調査委員会

令和7年5月13日(火)午後2時から午後2時40分まで、さいたま市「埼玉県農業共済会館」会議室において次の事項を協議した。

1 協議事項

(1) 新入会員の審査について

入会及び転入の申込みのあった、開業部会1名及び勤務部会3名について審査し、全て適切なものとして、理事会に付議することとなった。

(2) その他

入会申込書に電子メールアドレスの記入欄を設けることとし、次回の理事会で会員規程の改正を上程することが承認された。

新入会員報告

新 入 会 員 紹 介



かわうち ともよ
河内 智与
衛生支部



いし い ゆう き
石井 佑紀
農林支部



たかはら れ な
高原 怜那
農林支部

勤務部会

支 部 名	氏 名	勤 務 先
衛生	河 内 智 与	動物指導センター南支所
農林	石 井 佑 紀	中央家畜保健衛生所
農林	高 原 怜 那	熊谷家畜保健衛生所

予 告

埼玉県獣医師会学術講習会(西支部担当)のお知らせ (獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(4) 小3(1))

西支部長 堅木 道夫
学術委員会委員長 宗像俊太郎
西支部学術委員 岩崎 隆

この度、西支部では、猫のコロナウイルスに関する著名な研究で知られる北里大学伝染病学研究室の高野友美教授をお招きして、「猫のコロナウイルス感染症の診断から治療まで」を御講義いただきます。

FIPの治療は近年目覚ましい進化を遂げております。様々な媒体からそれなりの情報を得ることは可能ですが、今回は、その最前線でご活躍されている高野友美教授から直接、最新の良質な情報をお教えいただけるまたとない機会となります。

日 時：令和7年8月3日(日)

13:10～ 受付開始
13:30～16:30 セミナー
17:30～ 懇親会

場 所：ウェスタ川越 2階活動室 1
埼玉県川越市新宿町1-17-17
TEL 049-249-3777

演 題：「猫のコロナウイルス感染症の診断から治療まで」

講 師：北里大学獣医学部獣医学科獣医伝染病学研究室
教授 高野 友美 先生

参加費：埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円



中村会長が県庁新任幹部職員を表敬訪問

4月10日(木)、4月1日付けの埼玉県庁の人事異動で新たに就任された幹部職員の皆様を中村滋会長が表敬訪問しました。

中村会長は、各幹部職員対し、埼玉県獣医師会の活動状況について説明し、獣医師会の運営について県行政当局の理解を求めるとともに、引き続き、本会活動に対する支援を要請しました。

新任の幹部職員の皆様（訪問順）

農林部

部長 竹詰 一 様
(前職 農林部副部長)

同席者 畜産安全課長 渡辺 志保 様

保険医療部

部長 縄田 敬子 様
(前職 福祉部こども政策局長)

食品衛生安全局長 坂梨 栄二 様
(前職 食品安全課長)

生活衛生課長 片山 智之 様
(前職 食肉衛生検査センター北部支所長)

環境部

部長 堀口 幸生 様
(前職 企画財政部行政・デジタル改革局長)

同席者 副部長 竹内 康樹 様
みどり自然課長 高橋 和宏 様



左から 竹詰一部長、中村滋会長、渡辺志保課長(農林支部)



左から 縄田敬子部長、中村滋会長、坂梨栄二局長(衛生支部)、片山智之課長(衛生支部)



左から 堀口幸生部長、中村滋会長、竹内康樹副部長、高橋和宏課長

畜安第176-2号
令和7年4月25日

公益社団法人 埼玉県獣医師会
会長 中村 滋 様

埼玉県農林部畜産安全課長
渡辺 志保 (公印省略)

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律関係事務
に係る技術的助言について」の一部改正について (通知)

日頃より本県の動物薬事行政に御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
標記について農林水産省消費・安全局長から通知があり、下記のとおり指示書等の取り扱い
が定められましたので御承知おさいたくとともに、貴会会員への周知をお願いいたします。

記

- 1 電磁的記録により作成する処方箋及び指示書について
作成者及び改変の有無が確認できるものによる発行とすること。
- 2 交付した指示書の通知先について
指示書を交付した獣医師は、原則として農場の所在する都道府県に対して、その内容を
通知すること。

※本県においては、農場の所在地を管轄する家畜保健衛生所に提出してください。

事務連絡
令和7年4月17日

地方獣医師会事務局 御中

公益社団法人 日本獣医師会
専務理事 伏見 啓二

令和7年度の生乳の安全・安心の確保のための取組 に係る協力依頼について

このことについて、一般社団法人中央酪農会議から、令和7年4月10
日付け中酪(業務)発第24号をもって別添のとおり通知がありました。
このたびの通知は、令和7年3月31日に開催された「第26回生乳
の安全・安心の確保のための全国協議会」において、令和7年度の取組
方針が決定されたことから、今後は、この取り組み方針を踏まえ、地域
協議会で地域行動計画を策定し、酪農家への巡回指導や検証作業等、生
乳の安全・安心の確保のための具体的な取組を進めていくので、協力を
賜りたい旨、周知を依頼されたものです。
つきましては、貴会会員に通知方よろしくお願い致します。

※別添省略

7 日 獣 癸 第 32 号
令和 7 年 4 月 18 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会 長 藏 内 勇 夫
(公印及び契印の押印は省略)

**宮崎県の野生いのししにおける豚熱感染確認に伴う
豚熱対策の強化・徹底について**

このことについて、令和 7 年 4 月 11 日付け 7 消安第 400 号をもって
農林水産省消費・安全局長から、別紙のとおり通知がありました。
今般、宮崎県都城市で死亡していた野生いのししにおいて、南九州初
となる野生いのししでの豚熱感染が確認されたことを受け、野生いのし
し対策の強化及び農場における飼養衛生管理の徹底を依頼されたもので
す。

つきましては、貴会会員に周知方よろしくお願いいたします。

※別紙省略

事 務 連 絡
令和 7 年 4 月 30 日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
専務理事 伏 見 啓 二

第 4 回愛玩動物看護師国家試験及び予備試験の実施について

このことについて農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課から別
添のとおり情報共有がありました。
令和 7 年度に実施される第 4 回愛玩動物看護師国家試験及び予備試
験について貴会会員に通知いただき、これらの試験を希望される方へ
のご配慮をお願いいたします。
試験に関する詳細情報は、指定試験機関として試験を実施する一般社
団法人動物看護師統一認定機構のホームページ (<https://www.ccrvn.jp/>)
を御確認ください。

※別添省略

7 日 獣 発 第 47 号 令和 7 年 4 月 30 日 地方獣医師会会長 各位	公益社団法人 日本獣医師会 会 長 藏 内 勇 夫 (公印及び契印の押印は省略)	愛玩動物看護師法第 31 条第 3 号に基づく愛玩動物看護師試験の受験資格認定の取扱い等についての一部改正について このことについて、令和 7 年 4 月 24 日付け 6 消安第 6803 号及び環自総発第 2504241 号をもって、農林水産省消費・安全局長、環境省自然環境局長から、別添のとおり通知がありました。 このたびの通知は、愛玩動物看護師法第 31 条第 3 号に基づく愛玩動物看護師国家試験の受験資格認定の取扱い等について（令和 4 年 6 月 30 日付け 4 消安第 1696 号・環自総発第 2206301 号農林水産省消費・安全局長・環境省自然環境局長通知）の一部を改正するとしたものです。 つきましては、内容等についてご了知の上、貴会関係者への周知方、よろしく願います。
--	---	---

※別添省略

7 日 獣 発 第 61 号 令和 7 年 5 月 7 日 地方獣医師会会長 各位	公益社団法人 日本獣医師会 会 長 藏 内 勇 夫 (公印及び契印の押印は省略)	飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令等の一部改正について このことについて、令和 7 年 5 月 1 日付け 7 消安第 234 号をもって農林水産省消費・安全局長から、別添のとおり通知がありました。 このたびの通知は、カシューナッツ殻液を飼料添加物として新規指定し、規格・基準を定めたため、告示及び省令の一部が改正されたことについて、会員への周知を求められたものです。 つきましては、貴会関係者への周知方、よろしく願います。
---	---	---

※別添省略

7 日 献 発 第 78 号 令和 7 年 5 月 23 日 地方獣医師会会長 各位 公益社団法人 日本獣医師会 会 長 藏 内 勇 夫 (公印及び製印の押印は省略)	7 日 献 発 第 83 号 令和 7 年 5 月 26 日 地方獣医師会会長 各位 公益社団法人 日本獣医師会 会 長 藏 内 勇 夫 (公印及び製印の押印は省略) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する 医療等の用途を定める省令の一部改正について（施行通知） このことについて、令和 7 年 5 月 21 日付け事務連絡をもって農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課飼料安全・薬事室長から、別添のとおり通知がありました。 このたびの通知は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和 35 年法律第 145 号）第 2 条第 15 項に規定する指定薬物等については、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令（平成 19 年厚生労働省令第 14 号）において定められているところですが、同省令の一部が下記のとおり改正され、令和 7 年 5 月 26 日から施行されることについて周知を依頼されたものです。つきましては、貴会会員に通知方よろしくお願いいたします。 記 ・法第 2 条第 15 項に規定する指定薬物に「エチナル＝1－（1－フェニルエチル）－1 H－イミダゾール－5－カルボキシラート」を追加。
--	---

※別添省略

7 日 献 発 第 78 号 令和 7 年 5 月 23 日 地方獣医師会会長 各位 公益社団法人 日本獣医師会 会 長 藏 内 勇 夫 (公印及び製印の押印は省略)	E U 査察における牛肉輸出に係る指摘事項への対応について （エストラジオールを含む使用禁止薬剤不使用の確認体制の構築） このことについて、令和 7 年 5 月 21 日付け 7 畜産第 570 号、7 消安第 1290 号及び 7 輸国第 689 号をもって農林水産省畜産局食肉鶏卵課長、消費・安全局畜水産安全管理課長及び輸出・国際局規制対策グループ長から、別添のとおり通知がありました。 このたびの通知は、本年 3 月、英国、欧州連合、スイス、リヒテンシュタイン及びノルウェー（以下「EU 等」）向けに輸出される畜水産物について、EU 等の輸入条件適合状況確認のため、欧州委員会による査察が実施され、エストラジオール安息香料エステルの使用管理に関して指摘を受け、EU 等向け輸出牛肉の由来牛に対しては、出生からと蓄されるまでの間、不使用確認体制を構築することとされました。 このため、「英国、欧州連合、スイス、リヒテンシュタイン及びノルウェー向け輸出食肉の取扱要綱」を改正するとともに、令和 7 年 6 月 23 日の施行に向け、関係者各位に対応を開始することについて周知が依頼されたため、貴会会員に周知方よろしくお願いいたします。 また、別添通知の別紙 4 のとおり説明会の開催について案内されております。資料は別添 2 のとおりです。開催は令和 7 年 5 月 26 日から 30 日までの期間とされていることから、参加が必要と思われる関係者へのご案内につきましても併せてお願いいたします。
--	---

※別添省略

令和 7 年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和 7 年 5 月 20 日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
4 月			
5 月			
6 月			
7 月 1 日(火)		さいたま市 「ワンヘルスの視点からの狂犬病」 大分大学グローバル感染症研究センター 西園 晃 先生 (さいたま市 ソニックシティ)	
8 月 3 日(日)		西支部 「猫のコロナウイルス感染症の診断から治療まで」 北里大学 高野友美 先生 (川越市 ウェスタ川越)	
9 月 7 日(日)	令和 7 年度 関東・東京合同地区獣医師大会(山梨)獣医学術関東・東京合同地区学会 (中巨摩郡昭和町 アビオタワー館)		
10 月			
11 月			
12 月			
令和 8 年 1 月	農林支部 令和 7 年度埼玉県家畜保健衛生業績発表会 (場所 未定)		
2 月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3 月			
4 月 21 日(火) ～24 日(金)	令和 7 年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (東京都 東京国際フォーラム)		

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>
ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

令和7年

5月13日 監査会(さいたま市 埼玉県農業共済会館)

5月13日 第1回獣医事調査委員会

5月18日 南支部総会(さいたま市 浦和ワシントンホテル)

5月20日 埼玉県畜産会第1回理事会(熊谷市 ホテルヘリテイジ)

5月21日 北支部総会(深谷市 埼玉グランドホテル深谷)

5月22日 第1回総務委員会(さいたま市 レイボックホール)

5月25日 東支部総会(越谷市 越谷サンシティ)

5月25日 さいたま市支部総会(さいたま市ホテルブリランテ武蔵野)

5月26日 西支部総会(東松山市 紫雲閣東松山)

5月28日 第1回理事会(さいたま市 埼玉県農業共済会館)

6月2日 埼玉県獣医師会第77回定時総会(予定: さいたま市 ホテルブリランテ武蔵野)

6月13日 埼玉県畜産会第70回通常総会(熊谷市 ホテルヘリテイジ)

6月25日 日本獣医師会第82回通常総会(東京都港区 明治記念館)

7月6日 第2回関東・東京合同地区理事会(リモート開催)

7月11日 全国獣医師会事務事業推進会議(東京都港区 明治記念館)

8月3日 北支部研修会・納涼会(場所未定)

9月7日 関東・東京合同地区獣医師大会・三学会(山梨県甲府市 アピオタワー館)

11月14日 全国獣医師会会長会議(東京都港区 明治記念館)

11月15日 動物感謝デー in JAPAN(東京都台東区 上野恩賜公園)

令和8年

2月15日 第1回関東・東京合同地区理事会(山梨県笛吹市 石和温泉慶山)

4月21日 第41回世界獣医師大会(東京都千代田区 ~24日 東京国際フォーラム)

広告



こわい狂犬病から
ぼくを守ってね

毎年1回の狂犬病予防注射を忘れずに！



研究開発元 一般財団法人 松岡科学研究所

製造販売元 松研薬品工業株式会社

〒184-0003 東京都小金井市緑町5丁目19番21号

TEL: (042) 381-0075 FAX: (042) 381-0344

URL: <http://www.matsuken-yakuhin.com>

E-mail: daihyo@matsuken-yakuhin.com

■ 松研狂犬病 TC ワクチン

劇 要指示 指定

松研の動物用生物学的製剤

豚用ワクチン

- 豚熱生ウイルス乾燥予防液
(豚コレラ生ウイルス乾燥予防液)
- 松研豚丹毒生ワクチン
- ポーシリス APP-N
- ポーシリス ERY
- ポーシリス STREPSUIS
- ポーシリス Begonia DF・10
- ポーシリス Begonia DF・50

水産用ワクチン

- Mバック レンサ 注
- Mバックイニエ
- 松研Mバック IPレンサ

家畜用抗毒素

- 破傷風血清

広告

人が食べるものと同じだけ安全で
美味しいものを愛犬にも与えたい。

ドクタークレド

Dr. CREDO

胃腸と皮膚が気になる

成犬用 総合栄養食

No.1

血流と健康が気になる

中・高齢犬用 総合栄養食

No.2

体重と健康が気になる

成犬用 総合栄養食

No.3

こだわりの国産品。
いつでも新鮮！小分けパック。

下部尿路に

No.1

体重管理に

No.2

7歳から

No.3

美味しさに
自信

ドクターイデア

Dr. IDEA

愛犬・愛猫のトータルサポートフード

着色料不使用

自然派由来の酸化防止剤



森久保CAメディカル株式会社

神奈川：046-206-5713

山梨：055-287-8622

東京：042-564-2381

埼玉：04-2968-0881

三郷：048-948-2112

茨城：0296-54-6101

千葉：043-309-5430

編集後記

去る6月2日(月)埼玉県獣医師会の第77回定時総会および懇親会が開催されました。総会では各議案が円滑に進行し、懇親会には埼玉県大野知事、さいたま市清水市長、日本獣医師会鳥海副会長、日本医師会松本会長をはじめ、多くの企業関係者にもご参加いただき、会員との交流も深まり、大変有意義な場となりました。

現在、獣医療業界はさまざまな課題に直面しています。ペットの飼育頭数の減少、高齢者が動物を飼いにくい社会環境、公務員獣医師の待遇問題、災害時の対応体制の脆弱さ、そして近年では深刻な「獣医師の採用難」が加わりました。多くの動物病院が人材確保に苦慮しており、地域獣医療の継続性にも関わる重大な課題です。こうした社会課題を解決するには、行政との緊密な連携が不可欠です。先日、デジタル庁が推進する「デジタル田園都市構想」の中で示されているウェルビーイング指標に、動物やペットに関する記載が一切含まれていないことが判明しました。これに対し、ペットを飼育することで高齢者の介護費が半減することや、認知症発症率が約40%低下するという科学的データを携え訴えに行きましたが、十分な理解を得ることはできませんでした。政治や行政との関係性を深めることが、業界全体の課題解決に繋がると改めて痛感した次第です。

しかしながら、行政との連携だけで物事が前に進むわけではありません。企業との日常的な連携もまた、円滑な事業推進のためには欠かせません。今回のような懇親会の場は、行政・企業・獣医師会が信頼関係を築く絶好の機会であ

り、今後も継続的な開催が望まれます。一方で、行政に訴える際にも、会の規模や会員数が説得力を持つことは事実です。

近年、獣医師会の会員数は全国的に減少傾向にあり、埼玉県でも例外ではありません。かつては「獣医師になれば会に入るのが当然」という時代でしたが、近年は価値観の多様化や新たな団体の登場により、入会の意義が改めて問われています。では、獣医師会に入会するメリットとは何でしょうか。たとえば、集合注射事業を通じた地域社会・他職域団体との連携、医療トラブル時の顧問弁護士によるサポート、会独自の保険制度による手厚い補償などが挙げられます。また、地域の獣医師同士のネットワークを築くことで、診療に関する相談体制が整い、助かる命が増えることにもつながります。そして災害など非常事態の際には、個人での対応には限界があり、獣医師会という組織のネットワークが何よりも力を発揮します。加えて、公務員獣医師の待遇改善といった個人では解決困難な制度的課題も、獣医師会の社会的認知度が高まることで、政治的・行政的なアプローチが可能となります。

従来、入会に一定の制限がありましたが、現在では職域を問わず、支部・分会の理解を得られれば、獣医師なら誰もが入会できるよう制度を整えつつあります。今後は、小動物・大動物・公務員・企業勤務など多様な立場の獣医師が連携し、一丸となって業界の課題に取り組むことこそが、獣医師会のさらなる発展に繋がるものと信じております。(黎明)



日本獣医師会・獣医師会活動指針

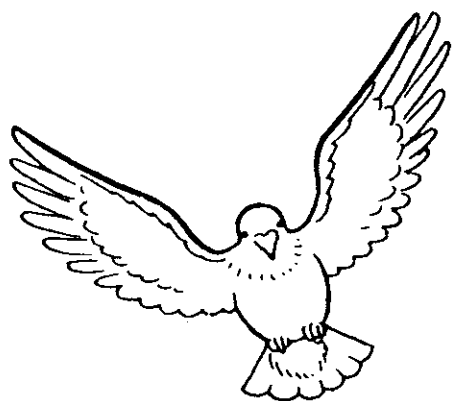
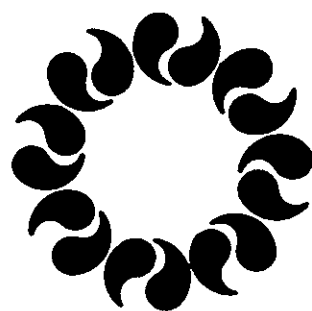
－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

彩の国



さいたま

